

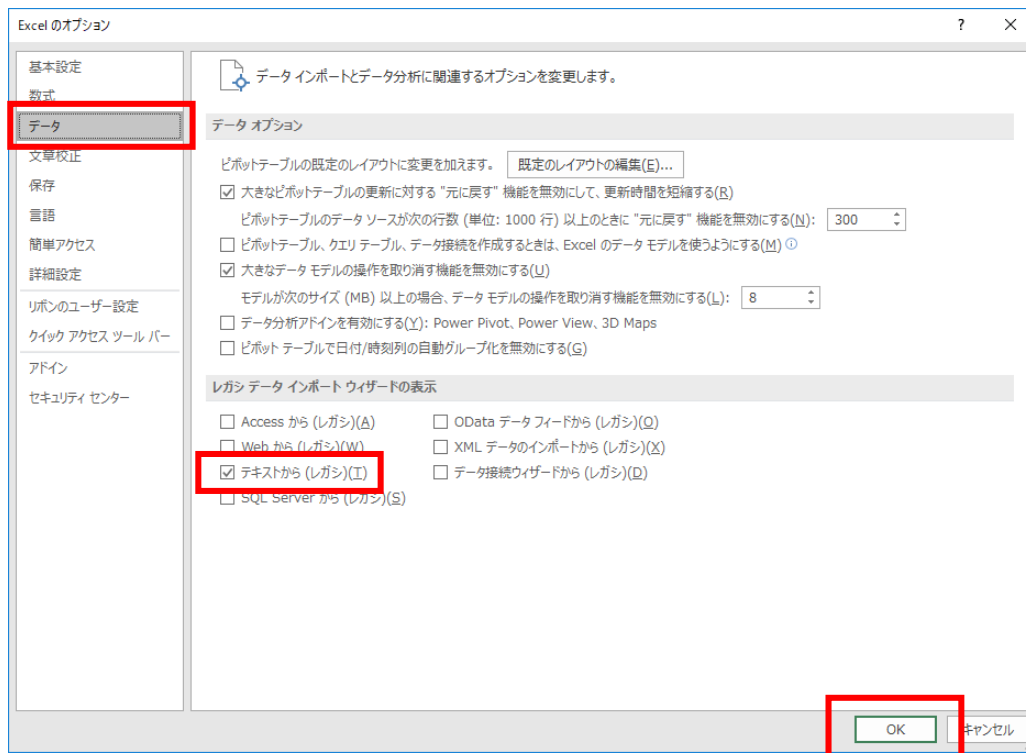
5. Microsoft Excel でCSVデータを作成(編集)する場合の手順

Microsoft Excel で償却資産申告書CSVデータ、種類別明細書CSVデータを作成すると、電話番号の先頭の0（ゼロ）や申告先市区町村コードの先頭の0（ゼロ）が削除されてしまいます。

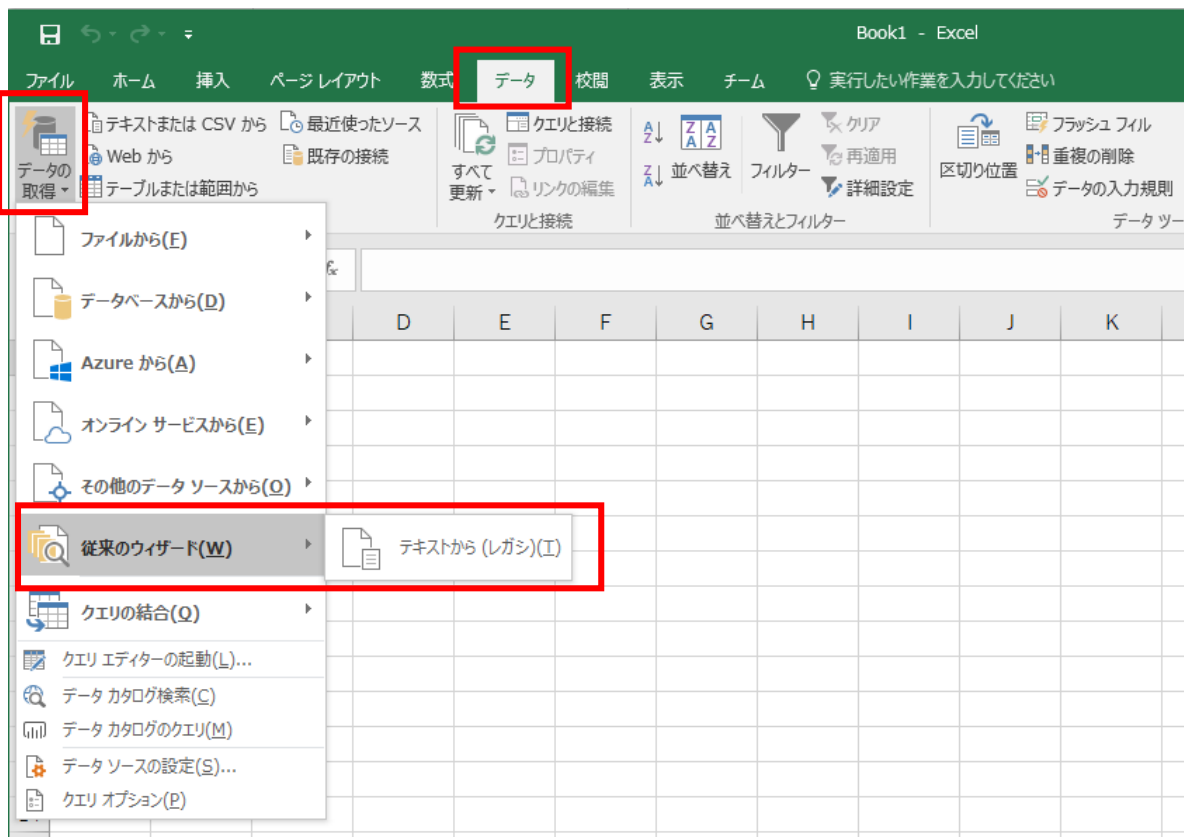
（例：01234→1234、045→45）

そのため、Microsoft Excel でCSVデータを作成する場合には、以下の手順でMicrosoft Excel を起動してください。

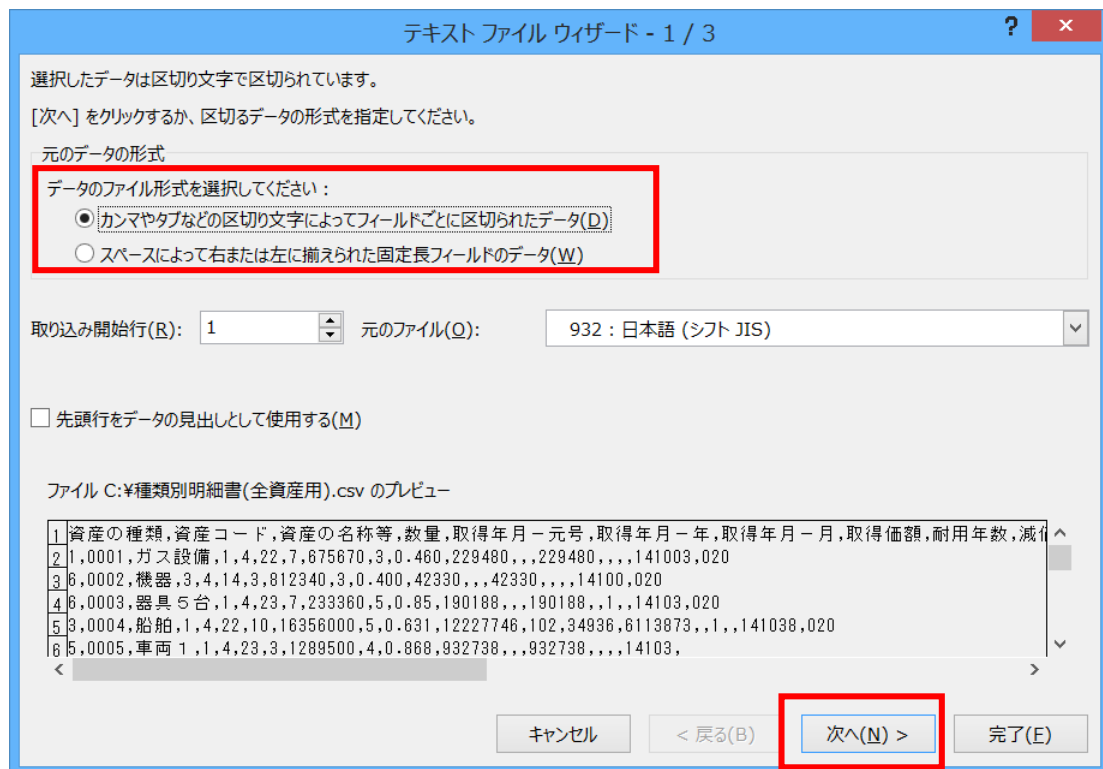
- (1) Windows のスタートメニューから Microsoft Excel を起動します。（白紙のワークブックが開いた状態にします。）
- (2) CSVファイルを指定します。
 - ①メニューバーの「ファイル」を選択し、左側の一覧から「オプション」を選択します。
 - ②オプション画面の左側の一覧から「データ」を選択し、「レガシデータインポートウィザードの表示」の「テキストから(レガシ)」にチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックします。



- ③メニューバーの「データ」→「データの取得」→「従来のウィザード」→「テキストから(レガシ)」でCSVファイルを指定します。



- (3) 「テキスト ファイル ウィザード・1/3」ダイアログが表示されますので、「元のデータの形式」指定で「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」にチェックがあるのを確認して「次へ」ボタンをクリックします。



- (4) 「テキスト ファイル ウィザード・2/3」 ダイアログが表示されますので、「区切り文字」指定で「カンマ」にチェックを入れて [次へ] ボタンをクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

☐ タブ(T)

☐ セミicolon(M)

☒ カンマ(C)

☐ スペース(S)

☐ その他(Q):

☐ 連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q): "

データのプレビュー(P)

資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月－元号	取得年月－年	取得年月－月	取得価額	耐用年数	減価率
1	0001	ガス設備	1	4	22	7	675670	3	0.460
6	0002	機器	3	4	14	3	812340	3	0.400
6	0003	器具 5 台	1	4	23	7	233360	5	0.85
3	0004	船舶	1	4	22	10	16356000	5	0.631
5	0005	車両 1	1	4	23	3	1289500	4	0.868

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

- (5) 「テキスト ファイル ウィザード・3/3」 ダイアログが表示されますので、①「データのプレビュー」ですべての列を選択し（すべての列を黒く反転させます）、②「列のデータ形式」指定で「文字列」を選択し、③ [完了] ボタンをクリックします。

※左右のスクロールバーを右端に持っていき Shift キーを押しながら右端の列をクリックすると全列選択できます

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

☐ G/標準(G)

☒ 文字列(I)

☐ 日付(D): YMD

☐ 削除する(I)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

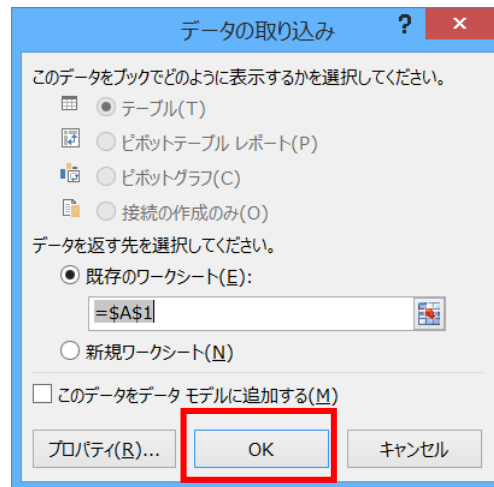
詳細(A)...

データのプレビュー(P) ①

文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列
資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月－元号	取得年月－年	取得年月－月	取得価額	耐用年数	減価率
1	0001	ガス設備	1	4	22	7	675670	3	0.460
6	0002	機器	3	4	14	3	812340	3	0.400
6	0003	器具 5 台	1	4	23	7	233360	5	0.85
3	0004	船舶	1	4	22	10	16356000	5	0.631
5	0005	車両 1	1	4	23	3	1289500	4	0.868

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) ③ 完了(E)

- (6) データの取り込み画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。
※既存のワークシートのセルの開始位置が「=\$A\$1」となっていない場合は、ワークシート上で「A 1」のセルを選択してください。



この手順でCSVデータを表示することで、すべての項目の値が文字列として表示されますので、数値型文字列の先頭0（ゼロ）は削除されません。また、この状態でデータを作成（編集）すれば、データ保存後も数値型文字列の先頭0（ゼロ）は削除されません。

- (7) 編集終了後、作成したシートを「名前を付けて保存」で保存します。保存時に「ファイルの種類」を「CSV（カンマ区切り）(*.csv)」にして保存します。